

物質名	働 き
インターロイキン	主にリンパ球や食細胞から分泌されます。現在では30種類以上存在することが知られており、IL1など「IL」が先頭に付きます。免疫細胞の増殖、分化、活性化、細胞死などを起こすように働きます。
ケモカイン	免疫細胞の移動(遊走)に関わっており、50種類以上の存在が確認されています。
インターフェロン	ウイルスの侵入や腫瘍細胞に反応して分泌され、ウイルスや腫瘍細胞の増殖を抑制します。抗ウイルス薬や抗がん剤などの医薬品として利用されています。
造血因子 (コロニー刺激因子)	血球は多能性幹細胞(造血幹細胞)から分化し、増殖しますが、この血球の分化や増殖を促進します。顆粒球へ分化させるG-CSFや、単球へ分化させるM-CSFなどがあります。
細胞増殖因子	特定の細胞の増殖や分化を促進します。上皮成長因子(EGF)、繊維芽細胞成長因子(FGF)、神経成長因子(NGF)、腫瘍増殖因子(TGF)などがあります。
細胞壊死因子	マクロファージから産生されます。腫瘍細胞をネクローシス(壊死)やアポトーシス(自死)に導く、また炎症反応にも関与します。TNFと略され、 $\alpha$ と $\beta$ があります。